

るとき、之を受くる人は感謝に泣き、渡す者は同情の涙に咽び、眞に悲壯の光景を呈したり。若し精細に調査したらんには之と同一の境遇に在る海員家族尙非常の多數に上るならんこの報告を齎せり。

震災海員家族收容並救護人員

避難海員家族を徹底的に救護する爲には是非とも適當の收容所を準備するの必要あり。處々之が詮索中偶々本團の事業に多大の同情を寄せられ之を後援するの意味に於て神戸市榮町六丁目伊藤商事會社建物の一部及相生町一丁目労働文化協會の無料開放を受け、始めて理想的收容所とすることを得たり。前者を第一收容所として獨身海員に充當し、後者を第二收容所として海員家族收容所とし、九月六日山城丸にて到着したる海員家族を始めとし、陸續入港する船舶より多數の海員及其家族を收容せり。其後十月十日に至り一段落を告げたるを以て之を閉鎖せり此間世話役として第一收容所には男子又第二收容所には婦人を配置し、避難者の食事、着替への衣類、湯錢、小使錢を贈呈し、出立の場合には乗車、乗船に要す

る證明書、途中の辨當代竝に必要な車馬賃を贈呈せり。收容中に要したる寢具は大阪商船會社及鐘ヶ淵紡績會社より無料貸與せられたるものなり。

本團婦人は前記收容所以外連日郵船屬員俱樂部其他各方面に避難したる多數の海員家族を訪問し、應急慰問品を贈呈せり。

本團に於て直接間接に救護したる罹災海員及其家族の概數左の如し

本部 收容所 扱

六八三名

神戸市内にて慰問品を贈呈したる海員家族五〇家族此人員

一五〇名

同上他の收容所避難者(慰問品を贈呈したるもの)

三五〇名

横濱支部に於て第一回救護品を配給したるもの

一、五〇〇名

同上第二回婦人部慰問隊にて慰問品を贈呈したる家族三五〇戸此人員

一、〇五〇名

合計

三、七三三名

此外横濱に於て海員家族たる否に拘らず物資配給又は其以外に救援乃至救護したる人員に至りては非常の多數に上るも明細の記録なきを以て之を省